

北海道上磯郡知内町議会

2 住民に開かれた議会

本町議会にあっては、平成19年に統合された小学校の校舎等の活用計画が持ち上がり、調査特別委員会を設置し進めていく中で、住民の声を聞くことが重要であるということから議会町民懇談会を開催することとなり、それをきっかけに翌年から、議会活性化推進検討委員会で地区別議会報告会の開催について検討を始め、意見交換、報告内容等について協議し、全町内会13地区において議員を2班に分け、町内会を通じて町民に文書配付し実施してきており、地区別議会報告会で出た意見等については、議員全員で集約し、各議員がそれぞれ一般質問や質疑の中で活用したりしている。また、町内の経済団体との懇談会の開催についても隔年で実施している。住民が議会への関心を高めることについては、議会の開催や日程、一般質問の内容等をポスターで事前に公共施設やコンビニ等へ掲示依頼し、防災無線も活用しながら町民に対して周知しており、定例会における休日や夜間議会の開催については、新年度予算審議を休日に開催したり、一般質問を夜間に実施するなど多くの町民に傍聴していただけるよう心がけていることや傍聴者に対しては、議案や資料を配付するなど配慮しているところである。議会のホームページの開設については、会議録や委員会記録、議会のうごき、議会の概要など議案に対する議員の賛否等の掲載など議会情報を積極的に伝えているところであり、議会広報紙についても、議会だより編集委員会委員5名により編集委員会を開催し住民に分かりやすく伝えるよう紙面の充実に努めている。また、2年前からインターネットを利用して本会議や委員会のライブ中継も始めており、庁舎を利用する方々に対して庁舎内ロビーのテレビで実況が視聴できるよう配慮しており、発信当初は、視聴者から議会の会議の様子がよくわかるなど多くの反響があったところである。これまで、色々取り組みを実施してきているが、今後も開かれた議会づくりに向けて、本町議会の現状に適した議会運営改革を試行錯誤しながらも取り進めていきたいと考えている。